

1. 活動報告

1) 受賞 (16年3月)

Marcos Antonio das Neves

2015年度日本食品工学会賞【論文賞】

<発表者>神津 博幸, 中田 友輝, 中嶋 光敏, Neves, M.A., 植村 邦彦, 佐藤 誠吾, 小林 功, 市川 創作<題目>“Analysis of Disintegration of Agar Gel Particles with Different Textures using Gastric Digestion Simulator.”
日本食品工学会誌 16(2)161-166(2015)

2) 外部資金獲得状況 (16年4月)

川田清和 (代表者)

<公益財団法人旭硝子財団 研究助成金>

「バイオリングeringリアルタイムグレイン解析を用いたヤギによる砂漠化プロセスの解明」

350万円 (H28.4-H31.3)

3) 若手研究者運営調整部会

・2016年度第1回

日時: 2016年4月21日(木) 11:00~11:40

場所: 総合研究棟D 115室

審議事項: (1) 若手フェスティバルについて

(2) 国際シンポジウムについて

(3) 成果報告会について

報告事項: (4) 若手セミナーについて

4) 総合科目 (16年4月)

▽春学期 AB 月曜1時限

第1回 4月18日

講義題目『ガイダンス』

講義担当者: 山下祐司 (生命環境系)

第2回 4月25日

講義題目『家畜遺伝資源の保存に向けて』

講義担当者: 浅野敦之 (生命環境系)

5) 業績 (16年4月・3月)

<原著論文>

Eri Miyauchi, Keiichi Kitajo, Masahiro Kawasaki*“TMS-induced theta phase synchrony reveals a bottom-up network in working memory” *Neuroscience Letters*, Vol. 622, pp. 10-14 (2016) IF=2.030Okamoto Y., Muto N., Kon K., Watanabe K., Yoshikawa T., Salaenoi J. and Ishikawa S.“Stable isotope analysis suggesting existing of plural populations of Streaked Spinefoot (*Siganus javus*; Linnaeus, 1766) in Bandon Bay, Southern Thailand.” *International Aquatic Research* accepted (2016) IF=なしSouilem, S., Treeswan, W., Neves, M.A., Uemura, K., Sayadi, S., Nakajima, M., Kobayashi, I.“Simulation of oleuropein structural conformation in vacuum, water and triolein-water systems using molecular dynamics simulation.” *Food Research International*. Accepted (April 11, 2016). IF=3.05Nakagawa Y, Oikawa F, Mizuno S, Ohno H, Yagishita Y, Satoh A, Osaki Y, Takei K, Kikuchi T, S.I. Han, Matsuzaka T., Iwasaki H, Kobayashi K, Yatoh S, Yahagi N, Suzuki H, Sone H, Takahashi S, Yamada N, Shimano H.“Hyperlipidemia and hepatitis in liver-specific CREB3L3 knockout mice generated using a one-step CRISPR/Cas9 system.” *Sci Rep.* in press.(2016) IF=5.578

<学会発表・招待講演>

F. Rudau, R. Wieland, X. Y. Zhou, M. Ji, N. Kinev, M. Tsujimoto, Y.

Huang, J. Yuan, D. Y. An, L. Y. Hao, R. G. Mints, P. Wu, T. Hatano, A. Ishii, K. Hirata, V. P. Koshelets, H. B. Wang, D. Koelle, and R. Kleiner

14th International Workshop High-Frequency Superconducting Electronics
演題: 『Coherent terahertz emission from stacks of intrinsic Josephson junctions in Bi2Sr2CaCu2O8』(口頭発表) (英語)

日時: 2016年4月13日

場所: Björkliden, Kiruna, Sweden

A. Elarabi, Y. Yoshioka, Y. Nakagawa, M. Tsujimoto, and I. Kakeya14th International Workshop High-Frequency Superconducting Electronics
演題: 『Generation of elliptically polarized terahertz waves from Bi2212 intrinsic Josephson junctions』(口頭発表) (英語)

日時: 2016年4月13日

場所: Björkliden, Kiruna, Sweden

伊與木 菜生・宮内 英里・川崎 真弘

日本発達心理科学会 第27回大会

演題: 『強迫傾向による無意識的な認知抑制低下に関する脳メカニズム』(ポスター発表)

日時：2016年4月29日～5月1日

場所：札幌

Eri Miyauchi, **Masahiro Kawasaki**

2016 Meeting of Cognitive Neuroscience Society

演題：『EEG oscillatory activity during the decision to give up problem solving』(ポスター発表)

日時：2016年4月2日～5日

場所：New York USA

王 玉新, Khalid, N., 中嶋光敏, 小林 功, **Neves, M. A.**

平成26年度つくば学生研究交流会

演題：『Solubility profile of maslinic acid in different concentration of ethanol.』(要旨集 p.1) (ポスター発表) (英語)

日時：2016年3月2日

場所：筑波大学

Li, R., 小林 功, 張 晏如, **Neves, M. A.**, 植村 邦彦, 中嶋光敏

平成26年度つくば学生研究交流会

演題：『Production characteristics of water-in-oil emulsions by microchannel emulsification using stainless-steel chip.』(要旨集 p.2) (ポスター発表) (英語)

日時：2016年3月2日

場所：筑波大学

Zhao, Y., Khalid, N., **Neves, M. A.**, 小林 功, 中嶋 光敏

平成26年度つくば学生研究交流会

演題：『The O/W emulsions stabilized by the gelatinized kudzu starch solution.』(要旨集 p.4) (ポスター発表) (英語)

日時：2016年3月2日

場所：筑波大学

受高峰, Khalid, N., **Neves, M. A.**, 小林 功, 中嶋 光敏

平成26年度つくば学生研究交流会

演題：『Environment stress on O/W nanoemulsions loaded with Vitamin D2: Influence of emulsifier.』(要旨集 p.7) (ポスター発表) (英語)

日時：2016年3月2日

場所：筑波大学

牧下 彩乃, 小林 功, **Neves, M. A.**, 萩原 昌司, 植村 邦彦, 中嶋 光敏

平成26年度つくば学生研究交流会

演題：『異なるホモジナイザーにより作製された O/W エマルジョンの酸化安定性評価』(要旨集 p.8) (ポスター発表)

日時：2016年3月2日

場所：筑波大学

Lara, G. R., 植村 邦彦, 中嶋 光敏, **Neves, M. A.**

平成26年度つくば学生研究交流会

演題：『Effect of pH on color stability of fresh-cut lotus root (*Nelumbo nucifera*).』(要旨集 p.12) (ポスター発表) (英語)

日時：2016年3月2日

場所：筑波大学

Vodo, S., Khalid, N., **Neves, M. A.**, 中嶋 光敏

平成26年度つくば学生研究交流会

演題：『Proximate analysis of sugarcane bagasse for hydrothermal treatment.』(要旨集 p.23) (ポスター発表) (英語)

日時：2016年3月2日

場所：筑波大学

趙会、**松坂賢**、島野仁

第53回日本臨床分子医学会学術集会

演題：『脂肪酸伸長酵素 Elovl6 の欠損は db/db マウスの2型糖尿病の発症・進展を抑制する』(ポスター発表)

日時：2016年4月15日

場所：東京国際フォーラム (東京)

大野博、**松坂賢**、島野仁

第53回日本臨床分子医学会学術集会

演題：『脂肪酸伸長酵素 Elovl6 の高次脳機能における役割』(ポスター発表)

日時：2016年4月15日

場所：東京国際フォーラム (東京)

趙会、**松坂賢**、中野雄太、唐寧、鈴木真璃衣、武内謙憲、岩崎仁、小林和人、矢藤繁、鈴木浩明、矢作直也、中川嘉、山田信博、島野仁

第89回日本内分泌学会学術総会

演題：『脂肪酸伸長酵素 Elovl6 の欠損は db/db マウスの2型糖尿病の発症・進展を抑制する』(ポスター発表)

日時：2016年4月21日

場所：国立京都国際会館 (京都)

<総説等>

辻本学

【講演】応用理工スプリングスクール2016 模擬講義

『超伝導デバイスで世界を変える—未来を照らすテラヘルツ光—』 2016年4月4日 筑波大学

6) その他

<ブラジルにて留学フェア (2016年3月11~14日) >

生命環境系 **Marcos A. Neves 助教**が、筑波大学・サンパウロオフィス活動の一環として2016年3月11~14日の間に、ブラジルにて開催された日本留学フェアに務めた。日本に留学した経験のある学生や日本留学に興味を持つ学生などを合わせて680名がフェアに参加した。3月11日(金)は、サンパウロ市内にて、午前中にはETAPA高校で120名が参加し、午後にはサンパウロ大学 (USP) にて230名が参加した。又、3月14日(月)は、ブラジル大学にて開催された留学フェアに関心のある在校生330名が参加した。

<関連ウェブサイト>

◇筑波大学方式ウェブページでブラジルでの留学フェアに関する記事 (2016年3月)

<http://www.global.tsukuba.ac.jp/news/2016/03/15/around-680-students-brazil-visited-study-japan-fair-2016?language=ja>

◇筑波大学サンパウロオフィス

<http://www.global.tsukuba.ac.jp/overseas/s%2C3%A3o-paulo?language=ja>

2. スケジュール

<16年5月>

9日(月)

総合科目 第3回

講義題目『海と人の関わり』

講義担当者：今孝悦（生命環境系）

12日（木） 11：00～

審査等説明会

総合研究棟D 116 会議室

12日（木） 11：30～

テニュアトラック普及・定着事業推進委員会及び定例会

総合研究棟D 115 会議室

12日（木） 定例会終了後

審査・アドバイザー委員会

総合研究棟D 115 会議室

16日（月）

総合科目 第4回

講義題目『群れの科学・からだの起源』

講義担当者：新里高行（システム情報系）

23日（月）

総合科目 第5回

講義題目『iPS細胞の実用化に向けて』

講義担当者：西村健（医学医療系）

30日（月）

総合科目 第6回

講義題目『園芸作物の遺伝子情報改良とその利用』

講義担当者：有泉亨（生命環境系）

テニュアトラック普及・定着事業 *News Letter vol 52*

[平成28年5月号]

編集・発行：若手研究者運営調整部会

*当ニュース・レターは、毎月1回第1木曜日に配信いたします。

連絡先：テニュアトラック支援室